

平成31年4月21日執行

佐倉市長選挙公報

佐倉市選挙管理委員会

暮らしやすく、誰もが活躍できるまちを目指して、市民とともに走り続けます！

<各団体の経歴>

- ・(社)佐倉市観光協会理事
- ・佐倉商工会議所常議員
- ・いんば農業協同組合理事
- ・佐倉市社会福祉協議会福祉委員
- ・(社)成田法人会常任理事
- ・佐倉中央ライオンズクラブ理事

～現在～

- ・佐倉市長3期
- ・(財)印旛沼環境基金 理事長
- ・佐倉市・酒々井町清掃組合 管理者
- ・印旛衛生施設管理組合 議会副議長
- ・印旛都市広域市町村圏事務組合 管理者
- ・佐倉市・八街市・酒々井町消防組合 管理者
- ・佐倉市・四街道市・酒々井町葬祭組合 副管理者
- ・印旛利根川水防事務組合 議会議員
- ・北総中央用水土地改良区 監事

<プロフィール>

- ・昭和24年7月佐倉市生まれ(69才)
- ・県立船橋高等学校卒業
- ・早稲田大学商学部卒業
- ・元三菱UFJ銀行員(元東京銀行)
- ・藤産業株式会社 取締役



～子育てしやすく、学びやすく、いつまでも生き生きと暮らしやすい～

未来にわたって輝き続けられるまちづくりを、市民の皆様と共に目指し働きます！



無所属
わらび和雄 かずお

●未来を担う子どもたちが輝くまちづくり

- ◇保育園や幼稚園、子ども園など子育ての選択肢を増やします。
- ◇待機児童0の持続 佐倉版「ネウボラ」を実践で継続的に支援します。
- ◇(仮称)佐倉子ども応援未来基金で、子ども食堂や奨学金等を展開します。
- ◇小児救急医療体制を維持し、入院医療費助成を高校生まで拡大します。
- ◇小中学校のエアコン整備、トイレ洋式化、自校式給食を維持します。

●多様性が尊重され、介護・医療等福祉の充実したまちづくり

- ◇介護サービスと予防を充実し、医療とも連携した地域支援を展開します。
- ◇子どもから高齢者まで、誰もが生涯にわたって活躍できる場を創ります。
- ◇障害があっても働きやすく暮らしやすい、誰一人取り残さないまちに。
- ◇まちづくりのパートナーとしての市民と共に人権、平和施策を進めます。

●安心・安全な都市基盤づくり

- ◇大地震・水害への備え、防災情報の伝達、総合防災拠点整備を急ぎます。
- ◇不法投棄や地球温暖化対策等の環境施策、地域防犯力向上を目指します。
- ◇交通弱者が外出しやすい仕組み、安全安心な道路交通網を整備します。
- ◇空き家対策・住み替え支援、上下水道事業の効率的経営を推進します。

●地域産業振興と賑わいのあるまちづくり

- ◇先端産業等の企業誘致や起業にチャレンジする人を応援します。
- ◇働き方改革を佐倉から実践し、先端技術の実証実験に取り組みます。
- ◇大学・研究機関等の誘致、産業と環境の調和による発展を目指します。
- ◇商業振興による賑わいある商店街づくり、「稼げる」農業を支援します。

●歴史・文化・自然を生かした魅力あふれるまちづくり

- ◇佐倉が誇る歴史・文化・自然資産の活用と保存に努めます。
- ◇花やスポーツ、花火や祭りなどイベントを活用して佐倉を宣伝します。
- ◇佐倉図書館を市民が集い交流できる機能を備えた施設に建て替えます。

●不断の行政改革と市民の将来負担軽減

- ◇効率的な組織運営と予算の優先順位を明確にし、市の借金を圧縮します。
- ◇市民サービスの質向上・公平性の担保と民営化を同時に達成します。
- ◇男女平等参画施策の推進、情報公開・情報発信を徹底します。



無所属
清田のり子

市民の力で佐倉を変える！



佐倉・市民の市長を
実現する会
0433-309,6871

一人ひとりが尊重されるまちへ

佐倉市に弁護士事務所を構えて33年、佐倉市男女平等参画推進条例策定委員会の座長を務めるなど、行政経験も積んできました。

今の佐倉市政には、市民の声を聴く姿勢がありません。

ある日突然、**地下図書館**になったり、水道が**民営化**されたり、そんなことにならないよう、「市民が主役」のまちづくりを目指します。

すぐに
やります

- 黒塗り高級公用車を廃止します。
- 市長給与を20%カットしその分を福祉財源に。

☆保育園・学童の待機児童をなくし、保育の質も確保します。

☆介護保険料の値上げを防ぎます。

プロフィール

- ◆1953年生まれ。鍋木町在住。夫、一女。
- ◆湘南高校、中央大学法学部法律学科卒。
- ◆1981年司法試験合格。1984年弁護士登録。1986年清田法律事務所開設。
- ◆元/民事調停官、千葉県弁護士会副会長
- ◆現在/日本弁護士連合会憲法問題対策本部委員、千葉9区市民連合共同代表

詳しい政策は→「清田のり子公式サイト」で検索！

清田のり子と一緒に、佐倉を変えましょう

これまでの佐倉

なんでも市長が
トップダウンで決めるまち

- 敬老会の突然の中止。
- コミセン等の利用料値上げ。
- 公民館の有料化。

税金の使い方が不透明

- ユーカリが丘のレンタルオフィス事業に2億円投資。工事など関連業務をビル所有者に委託するなど不透明な動き。
- 佐倉図書館建て替えに25億円。市の独断で「地下図書館+1階だし人形展示」を決定。

国・県に言われるがまま

- 地下水汲み上げを規制する時代遅れの県条例に異を唱えず、八ッ場ダムと霞ヶ浦導水事業も検証しない。
- 国の弱者切り捨ての社会保障費削減に追随し、市独自の救済策を立てない。

これからの佐倉

市民の意見がきちんと
反映される民主的なまち

- タウンミーティングを開き、市民と市長が意見交換。
- コミセン等の利用料を下げ、公民館は無料に戻します。

税金は市民生活のために

- コミュニティバスの運賃を200円から100円に値下げ実行。
- 給食を無料化。
- 18歳まで医療費無料化。
- 佐倉図書館は、地上に建てられる広い旧市営住宅跡地に変更。市民のための図書館に！

国・県と対等に渡り合う

- 県の地下水規制条例を見直し、水道料金の値上げを防ぐ。
- 国が進める水道民営化を阻止。
- 県が進める水道広域化を阻止。
- 介護保険、国民健康保険に減免制度を作ります。

平成31年4月21日執行

佐倉市長選挙公報

佐倉市選挙管理委員会

見せかけやポーズではなく、利権、シガラミ、密室での圧迫、強制等による意思決定を徹底的に排除して、透明性の高い市役所の仕事で市民に貢献します。高齢化・少子化対策を中心とした福祉、教育、地域経済の活性化等を積極的に進めます。

NEXT佐倉
1・2・3 GO!!
いち・に・さんごー



にした
西田 三十五
さんご
54歳



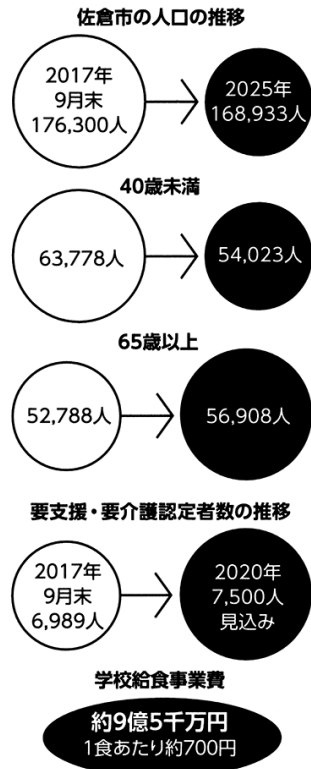
- 1 高齢化・少子化対策の推進**
 - ◇ 敬老会の充実、介護予防の充実、認知症検診
 - ◇ 子供の権利条例の制定
 - ◇ 子供食堂、放課後子供教室の支援
- 2 安定した行財政、市民サービスの充実**
 - ◇ 市民目線で開かれた市役所。意思決定のプロセスは徹底して透明化を図ります
 - ◇ お預かりした税金は、計画的に市民サービスに使用し、事業は毎年度見直し、既得権を容認せず、費用対効果、弱者、声なき声等への配慮をしながら無駄の無い公正で効率的な行政を行います
- 3 安心、安全なまちづくり**
 - ◇ 「人権尊重・人権擁護都市宣言」、「平和都市宣言」の主旨を施策に反映、推進
 - ◇ 日井交番、ユカリが丘交番の駅前移転
 - ◇ 上志津原交差点、神門交差点渋滞解消のための右折ラインの設置、佐倉IC周辺整備
 - ◇ 第3工業団地への直線道路整備、国道51号の4車線化促進
- 4 命と健康を守る施策の推進**
 - ◇ 生活習慣病予防と重症化防止のための保健指導の強化、前立腺がん（PSA）の住民健診、国民健康保険加入者の健康診査受診率の向上
 - ◇ 本人や家族のニーズに沿った在宅医療、在宅介護の充実
 - ◇ 武道館や弓道場を集約した若者運動公園の総合運動公園化
- 5 多様な価値観を受け容れる「ふるさと佐倉」**
 - ◇ 市民力レッジやコミュニティカレッジで幅広く充実した講座を提供します
 - ◇ 海外からの観光客や多様な人材の受け入れを支援、生徒、学生の海外交流事業
- 6 産業、経済の活性化**
 - ◇ 既存事業者のノウハウを活かした創業、起業の積極的な支援、市内創業、起業の市外、海外での誘致
 - ◇ 市内福祉施設等への就職支援
 - ◇ ふるさと広場の大型バスの駐車場整備や京成線の仮設上原台駅の検討
- 7 文化、歴史、自然環境を誇れる佐倉**
 - ◇ 印刷治の水質浄化、景観形成、環境整備
 - ◇ 知性を育む図書館、美術館、音楽ホール等の充実、整備
- 8 多くの人材が育つ佐倉の教育**
 - ◇ 「生きるに値しない命」など絶対に無いという事を理解した「生きる力」を身につけた子供や「他者への思いやり」を持った子供の育成
 - ◇ 学校給食費の支援、基準を設けて、必要な子供への支援を行います

市議12年・県議16年の経験を存分に活かします

佐倉市と市民が主役の新時代



望月あつこ



- ① 「健康のまち佐倉」をめざして**
 - 全世代の健康と子どもを育む環境の整備
 - 子どもから高齢者まで市民が地域社会に貢献しあえる地域力の強化
 - 在宅医療・介護連携支援センターを設置し、地域包括支援センターの充実
 - 認知症対策の強化を図り、認知症徘徊保険に加入
 - 学校・トイレの洋式化、男子トイレの個室化の整備の推進
 - 学校給食で佐倉市の農業の活性化と、エコ給食の推進
 - 保育園・学童保育の待機児童、特別養護老人ホームの待機者解消の推進
 - 保護者のニーズに応える多様な保育の受け入れの推進
 - 子育て支援（多胎児支援を含む）の充実
 - 「長崎茂雄野球教室」中学生に運営のお手伝いをしてもらい参加できるように進める
- ② 「持続可能なまち佐倉」をめざして**
 - 大規模災害に備えた重要インフラの点検・整備
 - 多様性に配慮し、全ての市民が共生、共創できるまちづくり
 - SDGs 持続可能な開発目標17課題を推進、総合学習に導入
 - A-I-C-Tを活用して、働き方改革を推進し行政改革・行政サービスの強化
 - 暮らしの利便性を集約し、活力あるまちづくりとインフラの適正規模の推進
 - 近隣市町との関係強化を図り、自立したまちづくりの推進
 - 防災・減災対策の強化、快速避難所運営の推進、女性防災リーダーの育成
 - いじめ、児童虐待の防止と解消策の強化
 - 印刷治等の環境対策（仮称）佐倉西部自然公園の整備の推進
- ③ 「夢がかなうまち佐倉」をめざして**
 - 市民協働のまちづくりを強化し、「夢がかなうまち佐倉」をめざす
 - 英語学習の強化、ユーク教育適応学習を導入しグローバル人材の育成
 - 地域経済の活性化で、雇用の需要拡大を図り、女性の就労・起業支援の促進
 - 「財政健全化戦略」を策定し、歳入の確保とコスト削減に努める
 - 有望企業、先端企業、重要企業の誘致
 - 誰もが安心して暮らし、訪れる事ができるユニバーサルデザインのまちづくりの推進
 - スポーツ合宿、企業研修の合宿、サイクルーリズム等で地域の活性化

プロフィール
1964年 東京都中央区生まれ 54歳
1977年 佐倉市立下志津小学校卒業
1980年 佐倉市立上志津中学校卒業
1983年 東邦高等学校卒業
2001年 (社)佐倉青年会議所理事長

職歴
(社)建築研究振興協会
(株)フジクラ本社
参議院議員井上裕事務所
国土交通省本省非常勤職員として
公文式中志津北教室指導者として運営
佐倉市議会議員

家族
父 望月清義 85歳(元市議会議員)
母 とみ子 82歳

備考：この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により縮小して印刷したものです。